

国分寺市民の血中濃度「PFHXS」が高い、 鎌ヶ谷市民の血液検査 PFHXS が多い・・・

下総基地周辺の水路・井戸水で PFAS 汚染が明らかに、又下総基地から敷地外へ排出される排水口からも高い PFAS が検出されています。(南東部 4500ng/ℓ、北東部 1700ng/ℓ)。千葉県も鎌ヶ谷・柏・白井 3 市も「金山落の PFOS・PFOA の高い値が出る原因の一つは下総基地からの排水であること」と特定しました。

鎌ヶ谷市が公費負担で血液検査を実施していますが、69 名の希望者のうち 10 名が申請して検査をしました。10 人中 9 人の方が米国アカデミーのガイドライン “7 種合計 20ng/mℓ” (20ng/mℓ 超で健康リスクが高くなる) を超過しました。PFOS と同じ位かより高い PFHXS が検出されました (平均値 PFOS : 24.3ng/mℓ・PFHXS : 63.3ng/mℓ)。PFHXS は泡消火剤の成分 PFOS や PFOA の代替物と言われています。

多摩地域の国分寺市での血液検査結果と似ています。

多摩地区では浄水場の使用井戸水が PFAS に汚染されてることが分かり、市民グループが 2022・23 年 650 人の血液検査をしています。国分寺に住む 84 人の結果は 4 種類合計で 20ng/mℓ を超過する方が 94% でした。PFHXS のほうが値が高いケースが多く出ました (平均で PFOS : 16.7ng/mℓ・PFHXS : 17.4ng/mℓ)。

国分寺市での市民集会に参加する機会を得ました (2025 年 8/23)

国分寺市民が使っている水道水は (東京都水道局) 東村山浄水場から供給される水に市内の「東恋ヶ窪」・「北町」それぞれの給水場にある井戸水を加えて供給しているとのこと。それぞれの井戸水が汚染されているので東恋ヶ窪の井戸水は 2020 年には使用停止され他の水で希釈してとのこと。



「東恋ヶ窪給水場」は土曜日で職員がいないので外観ですが現地を視察しました。住宅街の中にある小さな施設でした。

井戸水の汚染原因は横田基地の泡消火剤等によるといわれているが、その原因の因果関係は調査していないようです。日米地位協定の問題もあるとのこと。

市民集会では植田さんの「国分寺で考える・PFAS から健康を守るには」の講演、松原鎌ヶ谷市議会議員による「血液検査を公費で実現・鎌ヶ谷市の取り組み」の報告と意見交換会が行われました。

PFHXS (ペルフルオロヘキサンスルホン酸) とは・・・

Q、鎌ヶ谷市と同様血液検査で PFHXS が多く検出されてますがこれをどう考えたらいいですか？との質問に対し植田さんは説明しました。

① PFHXS は他の PFOS・PFOA よりも早く浸透していくので早く地下水に入っていく。

② PFHXS が泡消火剤に入っている場合もあるし、PFOS の代替 PFAS が地層を歩いていく間に PFHXS に変化していくケースもあります。

③ 半減期 PFOS : 5.4 年、PFOA : 3.8 年、PFHXS : 8.5 年との違いもあります。

と。

ですから泡消火剤由来と考えてよいようです。(以前小泉先生もそのようにおっしゃっていたようです)

ちなみに 2009 年 2012 年の千葉県 の金山落の河川の水質調査結果でも、
2009 年 (名内橋): PFOS: 150ng/ℓ、PFHXS: 120ng/ℓ と高い値の PFHXS がすでに出ています。

2012 年 5 月 (名内橋): PFOS: 100ng/ℓ、PFHXS: 80ng/ℓ。

(下手賀沼中央) PFOS: 83ng/ℓ、PFHXS: 61ng/ℓ です。

なぜか環境省はストックホルム条約で (PFOS は 2009 年、PFOA は 2019 年、PFHXS は 2022 年) 禁止されているのにそれぞれに基準値を設定するのでなく来年施行される水道水の基準では PFOS+PFOA=50ng/ℓ としているのです。(おかしいですね? PFHXS を加えると高い値が出てしまうから?)

東京都水道局も国分寺市も水質検査で PFHXS も調査しています。



そもそも PFHXS は、“残留性有機汚染化合物質に関するストックホルム条約において 2022 年付属書 A (禁止) に追加され日本では 2024 年に” 第一種特定化合物質 “に規定され製造・輸入が禁止されています。

PFOA や PFOS のように “発がん性” の記載はありませんが、PFHXS の健康影響は指摘されています。

2024 年 7/19 中央環境審議会環境保存部会の参考資料では、

“ヒトへの影響は「研究の結果に一貫性がない」「証拠不足」「報告の根拠が不十分」と言っていますが、ラットやマウスの実験では「肝細胞肥大」「甲状腺肥大」「甲状腺ホルモン減少」「神経細胞に関する障害」が報告されています。

ヒトにかんしては PFHXS は完全消化管吸収され主に肝臓と腎臓に蓄積。

ヒトの血液からの排出半減期は長く 5~7 年と記載されています。

今後は最低限 PFOS・PFOA だけでなく PFHXS と PFNA の 4 種類は調査して河川・地下水の水質や土壌の PFAS 汚染状況をチェックする必要があります。

国分寺市民の会は「国・都の責任で多摩地域の住民の血中濃度の測定を。」「国分寺市は市独自の血中濃度の検査体制を作ってください」を主要な課題にしているようです。

国分寺市の東恋が窪・北町給水場の井戸の PFAS 汚染の原因をはっきりさせるため地下水・帯水層の調査、そして横田基地との関係をあきらかにするための調査はどうなっているのだろうか? と疑問になったので 8 月 25 日に東京都水道局と国分寺市環境課に聞いてみました。ともに調査していないようです。

将来に負債を残さないためにも実態調査・安全な水の確保・血液検査などと健康フォロー・発生源の究明・責任の取り方の確定などを実行していく必要があります。公害問題の原則である「予防原則」の視点で住民の命と健康を、そして環境を守っていくために地方自治体も地方自治の立場から対策をとる必要があります。また当然国はそれ以上に規制体制・知見の集約・血液検査・財政的支援を検討実現する責任があります。

***「民主主義と自治そして平和主義」藤代政夫。047-445-9144**